



神奈川県
県民部広報県民課

平成20年度
県政モニター県政課題アンケート（第2回）

里地里山の保全等について

平成20年8月実施

神奈川県 県民部 広報県民課

目次

	ページ
I 調査の概要	1
II 県政モニターの見解	2
1 里地里山について	2
2 保全活動への参加について	4
3 県の支援に対する意識	9
III 主要統計表	13

(注)

- 比率 (%) は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあるため、合計が100%にならないことがある。
- 本文中の[]は2つ以上の選択肢を合わせて分析するのに用いる。この場合の比率は、実際の回答数の合計から算出しているため、個々の選択肢の比率の単純な合計とは値が異なる場合がある。

I 調査の概要

1 テーマ 「里地里山の保全等について」

テーマ出題課：環境農政部農地課

2 ねらい

里地里山とは、集落と農地・水路・ため池・雑木林などが一体となった地域である。

こうした地域は、人が「自然」に働きかけ、長い時間をかけて形づくられており、農林業の生産の場や生活の場として、私たちに多くの恵みをもたらしている。

しかし近年、生活様式の変化や農家の減少・高齢化などを背景に適切な管理が行き届かず、その機能が失われつつある。

県では、平成 20 年 4 月 1 日に「神奈川県里地里山の保全、再生及び活用の促進に関する条例」を施行し、県民の皆様の理解と保全等活動への参加の促進を図ることとしている。

そこで、里地里山への関心とその保全に係る意識について把握し、施策の参考とするため、アンケート調査を実施した。

3 対象 平成 20 年度県政モニター 400 人（男性：200 人 女性：200 人）
[内訳] 郵送コース 201 人（男性：89 人 女性：112 人）
インターネットコース 199 人（男性：111 人 女性：88 人）

4 調査項目 (1) 里地里山について
(2) 保全活動への参加について
(3) 県の支援に対する意識

5 調査期間 平成 20 年 8 月 1 日（金）～8 月 14 日（木）

6 調査方法 郵送による配布・回収、インターネットによる送信・受信

7 回収状況 県政モニター400 人のうち 347 人が回答（回収率：86.8%）
[内訳] 郵送コース 178 人（男性：76 人 女性：102 人）
インターネットコース 169 人（男性：98 人 女性：71 人）

	郵送			インターネット			合計		
	モニター数(人)	回答数(人)	回答率	モニター数(人)	回答数(人)	回答率	モニター数(人)	回答数(人)	回答率
男性	89	76	85.4%	111	98	88.3%	200	174	87.0%
女性	112	102	91.1%	88	71	80.7%	200	173	86.5%
合計	201	178	88.6%	199	169	84.9%	400	347	86.8%

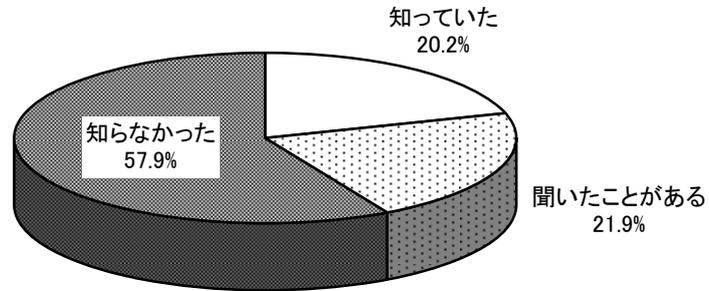
注)「回答率」(%)=「回答者数」÷「モニター数」×100

Ⅱ 県政モニターの意見

1 里地里山について

問1(1) 「里地」という言葉を知っていましたか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(回答は1つ)

(回答者数：347)



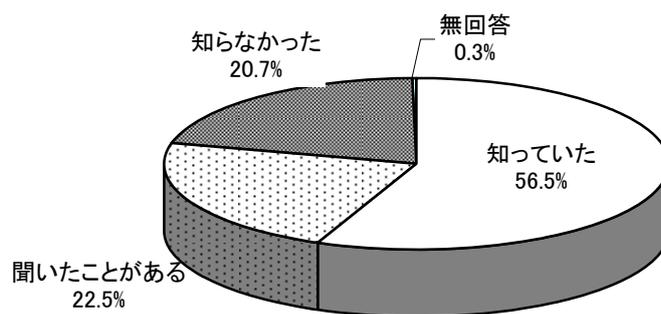
「里地」の認知度

「里地」という言葉について、「知っていた」(20.2%)と「聞いたことがある」(21.9%)はともに2割を超えた。

一方、「知らなかった」(57.9%)は5割台であった。

問1(2) 「里山」という言葉を知っていましたか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(回答は1つ)

(回答者数：347)

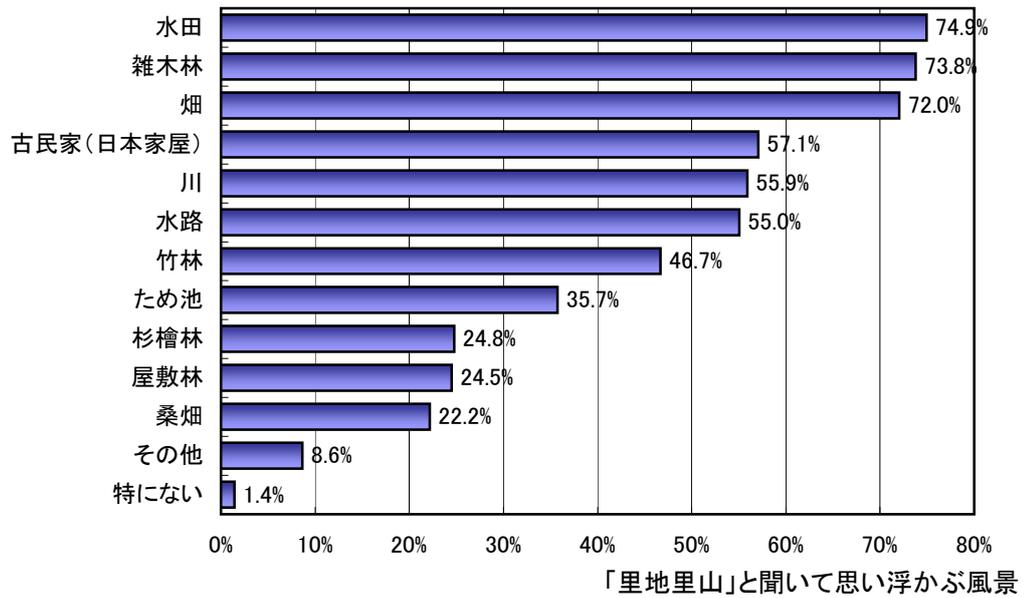


「里山」の認知度

「里山」という言葉について、「知っていた」(56.5%)は5割台であった。

一方、「知らなかった」(20.7%)は2割を超えた。

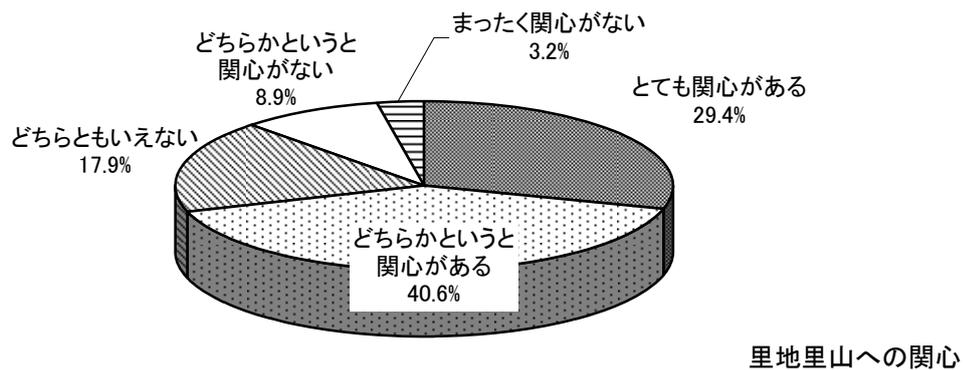
問1(3) あなたが「里地里山」と聞いて思い浮かぶ風景には、どのようなものがありますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(回答はいくつでも)
 (回答者数：347、回答数：1,918)



「里地里山」と聞いて思い浮かぶ風景は、「水田」(74.9%)、「雑木林」(73.8%)、「畑」(72.0%)がそれぞれ7割台が多かった。

問1(4) あなたは里地里山に関心がありますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(回答は1つ)

(回答者数：347)

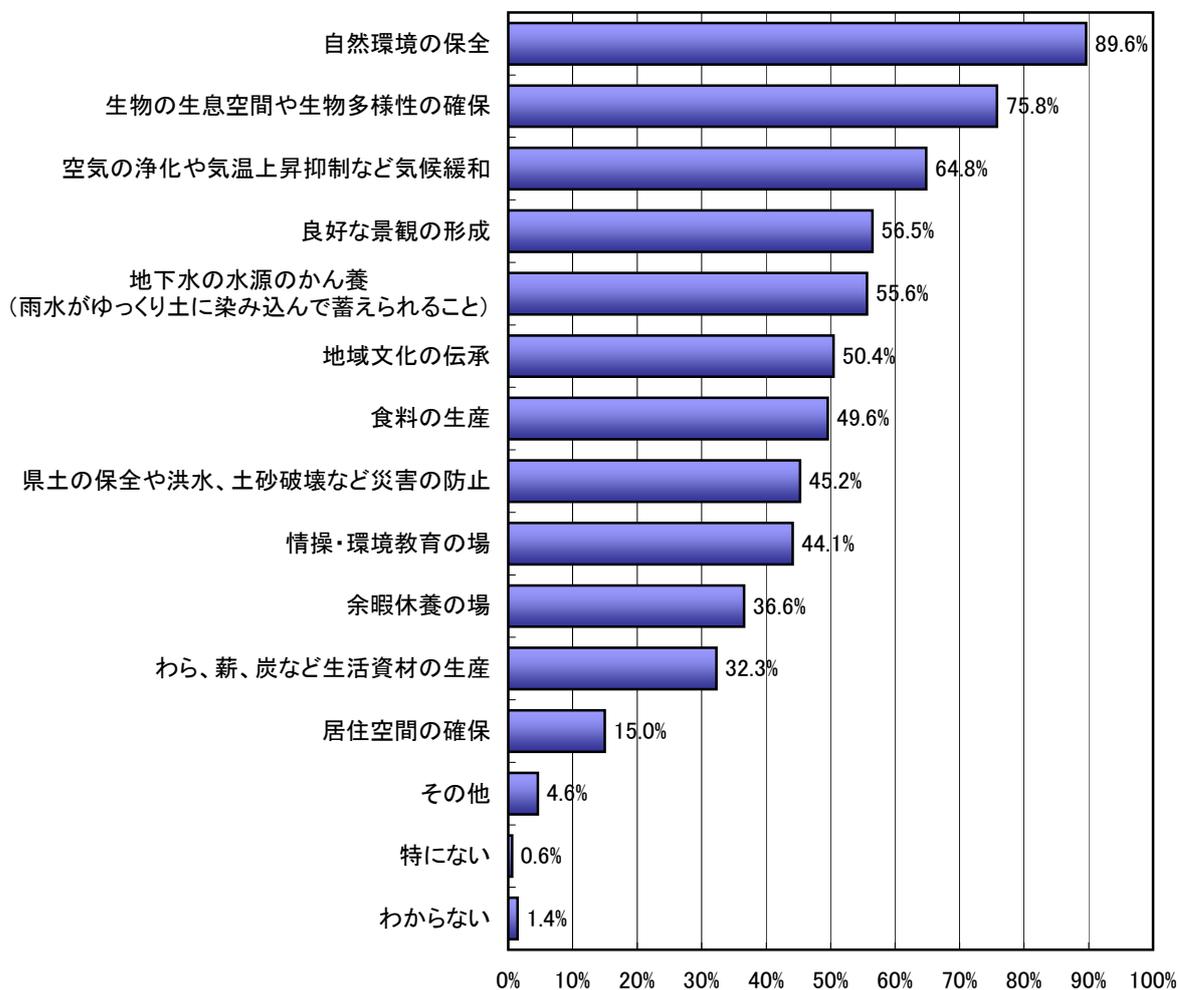


里地里山への関心について、「とても関心がある」(29.4%)と「どちらかというに関心がある」(40.6%)をあわせた[関心がある](70.0%)が7割であった。

2 保全活動への参加について

問2(1) 里地里山が持っている役割や機能（以下、「多面的機能」という）で、重要と思うものは何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。
（回答はいくつでも）

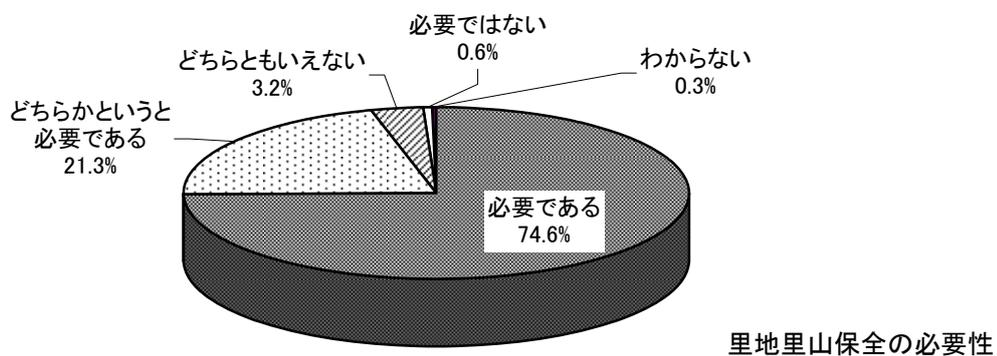
（回答者数：347、回答数：2,159）



里地里山の役割や機能で重要と思うもの

里地里山の役割や機能で重要と思うものについて、「自然環境の保全」（89.6%）が約9割で最も多く、「生物の生息空間や生物多様性の確保」（75.8%）が7割台、「空気の浄化や気温上昇抑制など気候緩和」（64.8%）が6割台で続いた。

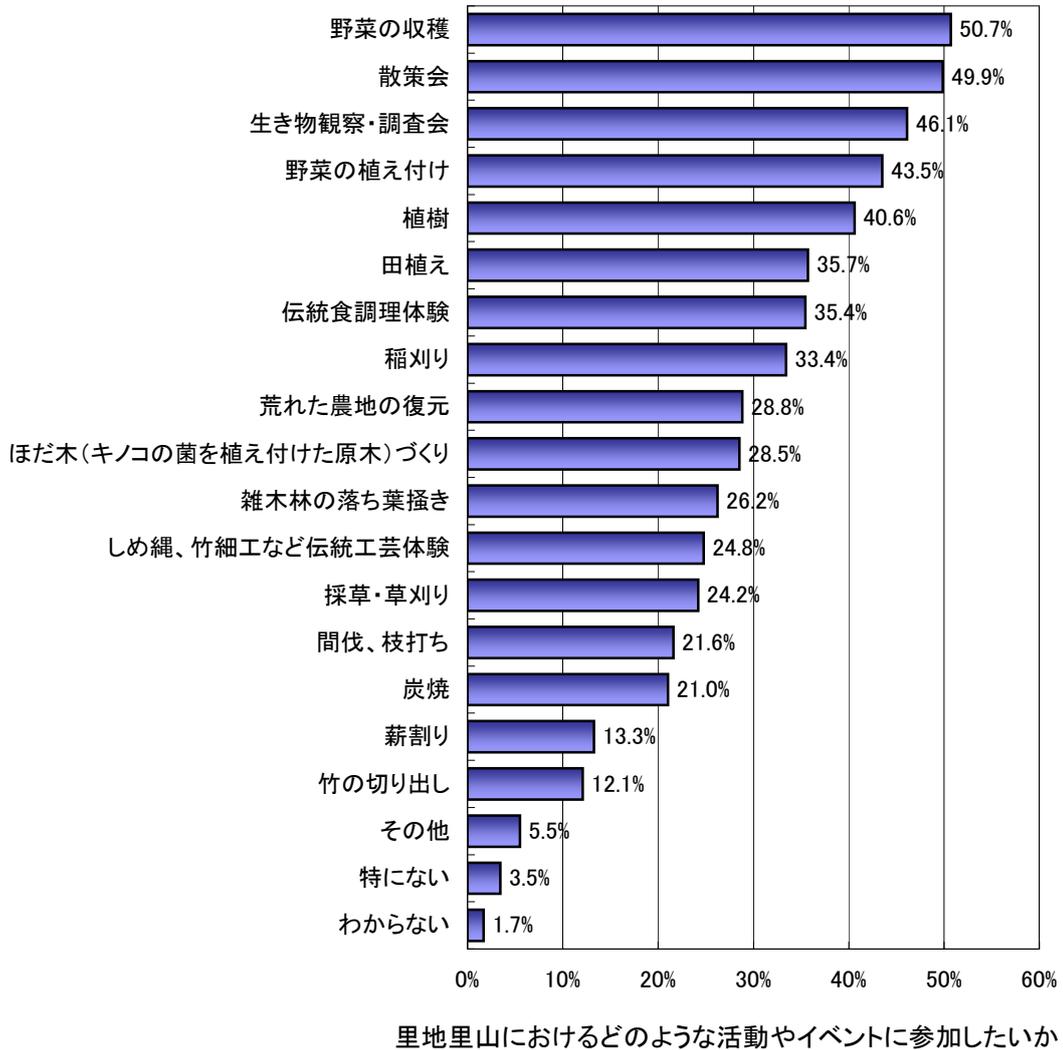
問2(2) 今、多様な生き物が生息できる、環境について学ぶことができるなどの、多面的機能を持つ里地里山を保全することが必要だと言われていますが、あなたはごどう思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(回答は1つ)
(回答者数：347)



里地里山保全の必要性について、「必要である」(74.6%)と「どちらかという必要である」(21.3%)をあわせた「必要である」(96.0%)が9割台であった。

問2(3) 多面的機能は、里地里山が適正に保全されてはじめて発揮されます。あなたは、里地里山におけるどのような活動やイベントに参加したいと思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。（回答はいくつでも）

（回答者数：347、回答数：1,897）

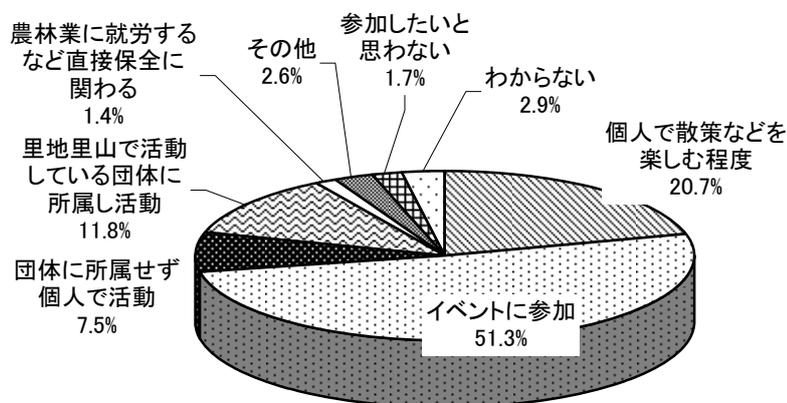


里地里山におけるどのような活動やイベントに参加したいかについて、「野菜の収穫」（50.7%）が5割を超えて最も多く、「散策会」（49.9%）と「生き物観察・調査会」（46.1%）が続いた。

問2(4) あなたは、里地里山における活動に、どのような条件ならば参加したいと思いますか。次のア～オについてあてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。

(回答はそれぞれ1つ)

ア どのような参加形態がよいと思いますか。(回答は1つ) (回答者数: 347)

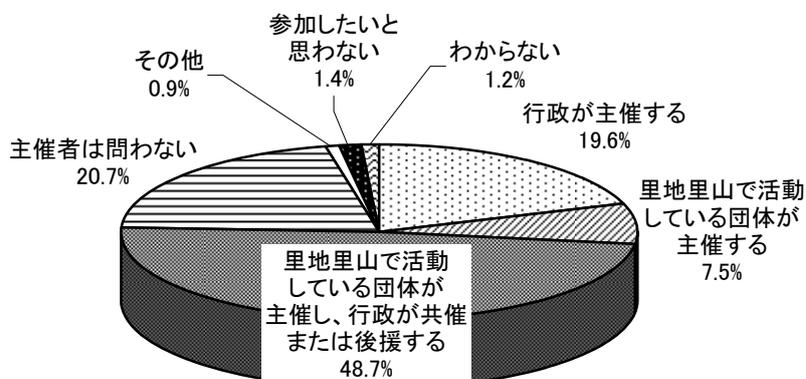


参加形態

どのような参加形態がよいと思うかについて、「イベントに参加」(51.3%)が5割を超えて最も多く、次いで「個人で散策などを楽しむ程度」(20.7%)が2割を超えた。

イ 主催者は誰がよいと思いますか。(回答は1つ)

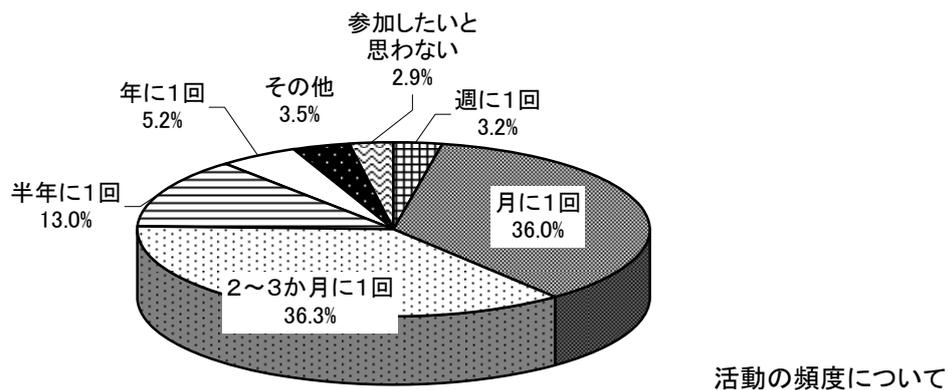
(回答者数: 347)



主催者について

主催者は誰がよいと思うかについて、「里地里山で活動している団体が主催し、行政が共催または後援する」(48.7%)が約5割で最も多く、「主催者は問わない」(20.7%)と「行政が主催する」(19.6%)が続いた。

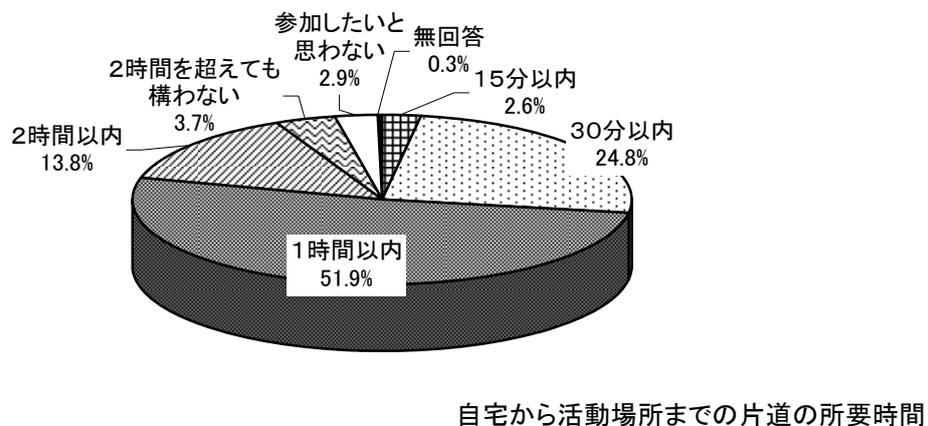
ウ 活動の頻度はどの程度がよいと思いますか。（回答は1つ）（回答者数：347）



活動の頻度はどの程度がよいと思うかについて、「2～3か月に1回」（36.3%）と「月に1回」（36.0%）がともに3割台であった。

エ 自宅から活動場所までの片道の所要時間はどの程度がよいと思いますか。（回答は1つ）

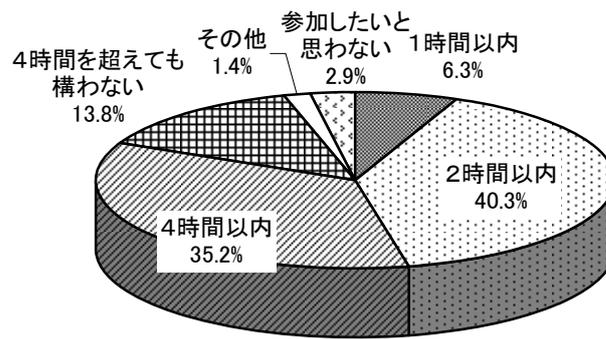
（回答者数：347）



自宅から活動場所までの片道の所要時間はどの程度がよいと思うかについて、「1時間以内」（51.9%）が5割を超えて最も多く、次いで「30分以内」（24.8%）が2割台であった。

オ 1回の活動時間はどの程度がよいと思いますか。（回答は1つ）

（回答者数：347）



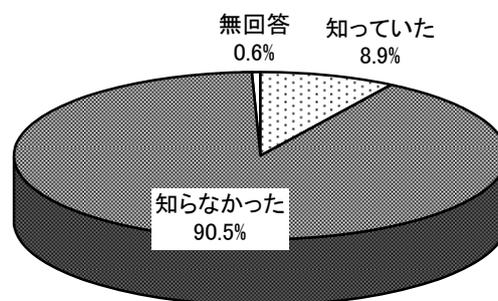
1回の活動時間

1回の活動時間はどの程度がよいと思うかについて、「2時間以内」（40.3%）が4割を超え、次いで「4時間以内」（35.2%）が3割台であった。

3 県の支援に対する意識

問3(1) 県では、里地里山の有する多面的機能の発揮と次世代への継承を図ることにより、県民の健康で心豊かな生活の確保に寄与することを目的に、平成20年4月1日に「神奈川県里地里山の保全、再生及び活用の促進に関する条例」（以下「条例」という。）を施行しました。このことを知っていましたか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。（回答は1つ）

（回答者数：347）

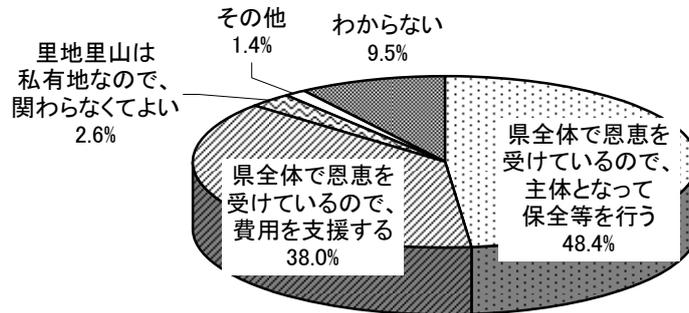


「神奈川県里地里山の保全、再生及び活用の促進に関する条例」の認知度

「神奈川県里地里山の保全、再生及び活用の促進に関する条例」の認知度について、「知らなかった」（90.5%）が9割に達した。

問3(2) 条例第4条では県の責務を定めていますが、あなたは多面的機能を発揮させるための里地里山の保全等に、県はどのように関わるとよいと思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(回答は1つ)

(回答者数：347)



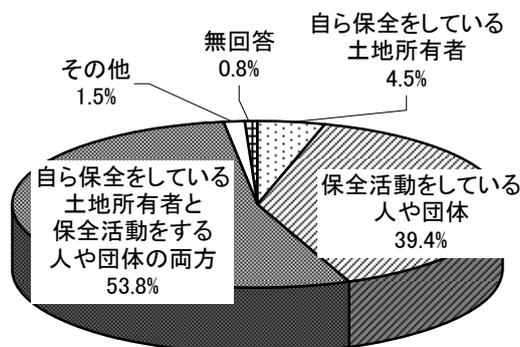
里地里山の保全等への県の関わり

里地里山の保全等に県はどのように関わるとよいかについて、「県全体で恩恵を受けているので、主体となって保全等を行う」(48.4%)が約5割で最も多く、次いで「県全体で恩恵を受けているので、費用を支援する」(38.0%)が約4割で続いた。

《問3(2)で、「2 県全体で恩恵を受けているので、費用を支援する」と答えた方のみ回答》

問3(3) その場合、誰に支援すべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(回答は1つ)

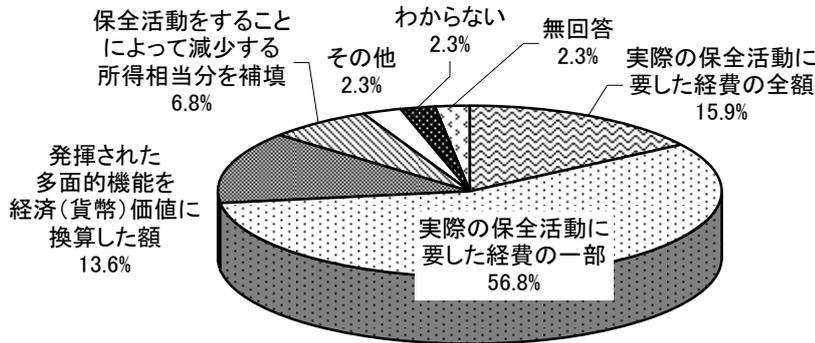
(回答者数：132)



誰に支援すべきか

問3(2)で「県全体で恩恵を受けているので、費用を支援する」と答えた132人に、誰に支援すべきか尋ねたところ、「自ら保全をしている土地所有者と保全活動をする人や団体の両方」(53.8%)が5割台で最も多く、次いで「保全活動をしている人や団体」(39.4%)が約4割であった。

問3(4) その場合、どのような考え方にに基づき、費用について支援するのがよいと思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(回答は1つ)
(回答者数：132)

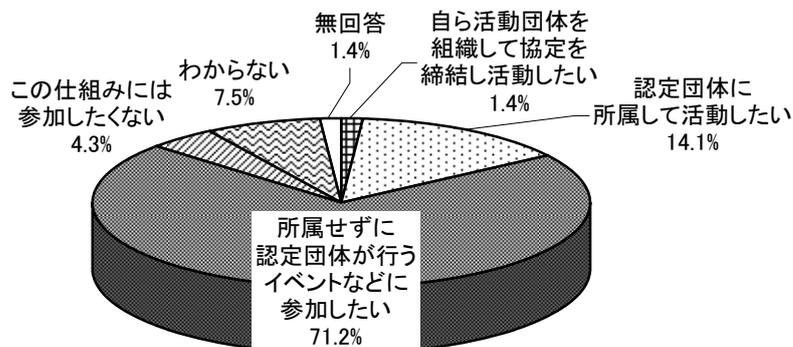


どのような考え方に基づいて支援するのがよいか

問3(2)で「県全体で恩恵を受けているので、費用を支援する」と答えた132人に、どのような考え方に基づいて支援するのがよいか尋ねたところ、「実際の保全活動に要した経費の一部」(56.8%)が5割台であった。

《すべての方が回答》

問3(5) 条例第13条における県の支援は、土地所有者と活動団体が協定を結び、その協定を県が認定した活動団体(以下、「認定団体」という)に対して行うことになっています。あなたがこの仕組みに参加するとしたら、どのように参加したいと思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(回答は1つ)
(回答者数：347)



条例第13条の仕組みへの参加について

条例第13条の仕組みへの参加について、「所属せずに認定団体が行うイベントなどに参加したい」(71.2%)が7割を超えた。

《問3(5)で、「1 自ら活動団体を組織して協定を締結し活動したい」と答えた方のみ回答》

問3(6) 土地所有者と協定を結ぶに当たって県に期待する役割は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(回答はいくつでも)

(回答者数：5、回答数：11)

	回答数
活動団体が希望する土地と土地所有者の紹介、仲介	5
活動団体を組織するための助言	3
協定締結のための事務手続きの手助け	3
その他	-
特になし	-
わからない	-
合計	11

県に期待する役割

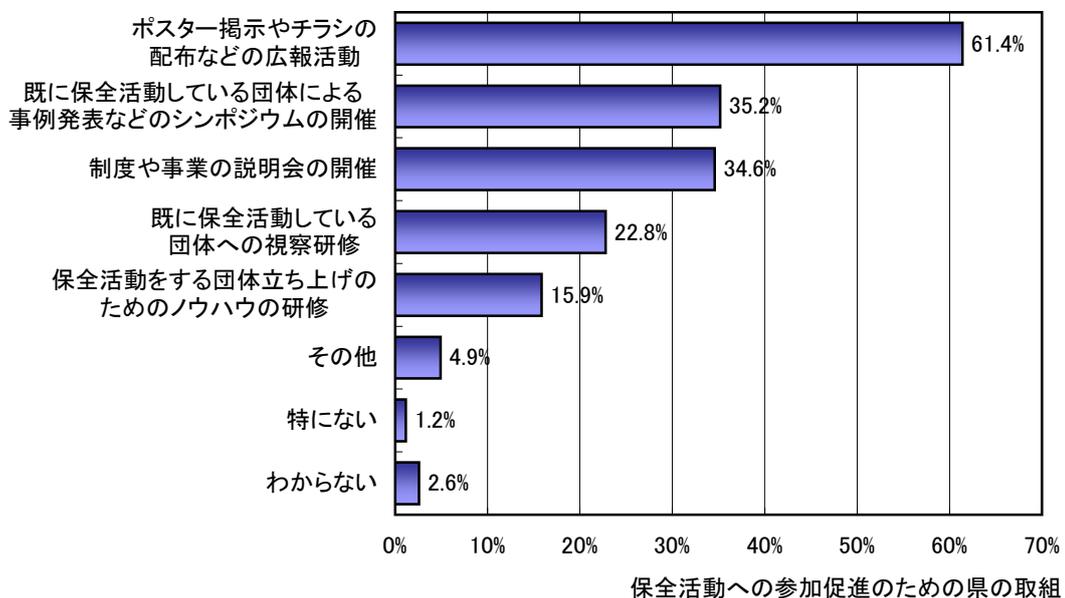
問3(5)で「自ら活動団体を組織して協定を締結し活動したい」と答えた5人に、県に期待する役割は何かを尋ねたところ、「活動団体が希望する土地と土地所有者の紹介、仲介」が5人、「活動団体を組織するための助言」、「協定締結のための事務手続きの手助け」がそれぞれ3人であった。

《すべての方が回答》

問3(7) 今後、保全活動に参加する人が増えるようにするには、県は特にどのような取組をする必要があると思いますか。次の中から2つまで選んでください。

(回答は2つまで)

(回答者数：347、回答数：619)



保全活動への参加促進のための県の取組について、「ポスター掲示やチラシの配布などの広報活動」(61.4%)が6割を超えて最も多く、「既に保全活動している団体による事例発表などのシンポジウムの開催」(35.2%)と「制度や事業の説明会の開催」(34.6%)が続いた。

アンケート調査の結果は、今後の里地里山の保全、再生及び活用に関する施策の参考にさせていただきます。

テーマ出題課：環境農政部農地課

Ⅲ 主要統計表 〈性別単純集計表〉

問1 里地里山について

問1(1) 「里地」という言葉を知っていましたか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(回答は1つ)

	男性		女性		合計	
	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)
1 知っていた	51	29.3	19	11.0	70	20.2
2 聞いたことがある	34	19.5	42	24.3	76	21.9
3 知らなかった	89	51.1	112	64.7	201	57.9
合計	174	100.0	173	100.0	347	100.0

〈再掲〉

	男性		女性		合計	
	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)
1+2 [知っていた] (「知っていた」+「聞いたことがある」)	85	48.9	61	35.3	146	42.1
3 知らなかった	89	51.1	112	64.7	201	57.9
合計	174	100.0	173	100.0	347	100.0

問1(2) 「里山」という言葉を知っていましたか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(回答は1つ)

	男性		女性		合計	
	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)
1 知っていた	114	65.5	82	47.4	196	56.5
2 聞いたことがある	32	18.4	46	26.6	78	22.5
3 知らなかった	28	16.1	44	25.4	72	20.7
- 無回答	-	0.0	1	0.6	1	0.3
合計	174	100.0	173	100.0	347	100.0

〈再掲〉

	男性		女性		合計	
	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)
1+2 [知っていた] (「知っていた」+「聞いたことがある」)	146	83.9	128	74.0	274	79.0
3 知らなかった	28	16.1	44	25.4	72	20.7
- 無回答	-	0.0	1	0.6	1	0.3
合計	174	100.0	173	100.0	347	100.0

問1(3) あなたが「里地里山」と聞いて思い浮かぶ風景には、どのようなものがありますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(回答はいくつでも)

	男性(174人)		女性(173人)		合計(347人)	
	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)
1 水田	133	76.4	127	73.4	260	74.9
2 畑	121	69.5	129	74.6	250	72.0
3 桑畑	37	21.3	40	23.1	77	22.2
4 水路	103	59.2	88	50.9	191	55.0
5 川	98	56.3	96	55.5	194	55.9
6 ため池	69	39.7	55	31.8	124	35.7
7 古民家(日本家屋)	96	55.2	102	59.0	198	57.1
8 屋敷林	38	21.8	47	27.2	85	24.5
9 雑木林	132	75.9	124	71.7	256	73.8
10 杉檜林	42	24.1	44	25.4	86	24.8
11 竹林	82	47.1	80	46.2	162	46.7
12 その他	14	8.0	16	9.2	30	8.6
13 特にない	1	0.6	4	2.3	5	1.4
合計	966	-	952	-	1,918	-

注 ①上段の()書きは回答者数

②回答率は、「回答数」÷「回答者数」×100(%) 以下、複数回答については同じ

問 1 (4) あなたは里地里山に関心がありますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。
(回答は1つ)

	男 性		女 性		合 計	
	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)
1 とても関心がある	70	40.2	32	18.5	102	29.4
2 どちらかというに関心がある	63	36.2	78	45.1	141	40.6
3 どちらともいえない	26	14.9	36	20.8	62	17.9
4 どちらかというに関心がない	12	6.9	19	11.0	31	8.9
5 まったく関心がない	3	1.7	8	4.6	11	3.2
合計	174	100.0	173	100.0	347	100.0

《再掲》

	男 性		女 性		合 計	
	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)
1+2 [関心がある] (「とても関心がある」+「どちらかというに関心がある」)	133	76.4	110	63.6	243	70.0
3 どちらともいえない	26	14.9	36	20.8	62	17.9
4+5 [関心がない] (「どちらかというに関心がない」+「まったく関心がない」)	15	8.6	27	15.6	42	12.1
合計	174	100.0	173	100.0	347	100.0

問 2 保全活動への参加について

問 2 (1) 里地里山が持っている役割や機能(以下、「多面的機能」という)で、重要と思うものは何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(回答はいくつでも)

	男 性(174人)		女 性(173人)		合 計(347人)	
	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)
1 食料の生産	85	48.9	87	50.3	172	49.6
2 わら、薪、炭など生活資材の生産	58	33.3	54	31.2	112	32.3
3 居住空間の確保	22	12.6	30	17.3	52	15.0
4 良好な景観の形成	106	60.9	90	52.0	196	56.5
5 自然環境の保全	157	90.2	154	89.0	311	89.6
6 生物の生息空間や生物多様性の確保	131	75.3	132	76.3	263	75.8
7 県土の保全や洪水、土砂破壊など災害の防止	82	47.1	75	43.4	157	45.2
8 地下水の水源のかん養(雨水がゆっくり土に染み込んで蓄えられること)	96	55.2	97	56.1	193	55.6
9 空気の浄化や気温上昇抑制など気候緩和	109	62.6	116	67.1	225	64.8
10 地域文化の伝承	82	47.1	93	53.8	175	50.4
11 情操・環境教育の場	74	42.5	79	45.7	153	44.1
12 余暇休養の場	66	37.9	61	35.3	127	36.6
13 その他	11	6.3	5	2.9	16	4.6
14 特にない	1	0.6	1	0.6	2	0.6
15 わからない	2	1.1	3	1.7	5	1.4
合計	1,082	-	1,077	-	2,159	-

問 2 (2) 今、多様な生き物が生息できる、環境について学ぶことができるなどの、多面的機能を持つ里地里山を保全することが必要だと言われていますが、あなたはどのように思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(回答は1つ)

	男 性		女 性		合 計	
	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)
1 必要である	135	77.6	124	71.7	259	74.6
2 どちらかというに必要である	31	17.8	43	24.9	74	21.3
3 どちらともいえない	6	3.4	5	2.9	11	3.2
4 どちらかというに必要ではない	-	0.0	-	0.0	-	0.0
5 必要ではない	2	1.1	-	0.0	2	0.6
6 わからない	-	0.0	1	0.6	1	0.3
合計	174	100.0	173	100.0	347	100.0

《再掲》

	男性		女性		合計	
	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)
1+2 「必要である」(「必要である」+「どちらか というと必要である」)	166	95.4	167	96.5	333	96.0
3 どちらともいえない	6	3.4	5	2.9	11	3.2
4+5 「必要ではない」(「どちらかというとな 必要ではない」+「必要ではない」)	2	1.1	-	0.0	2	0.6
6 わからない	-	0.0	1	0.6	1	0.3
合計	174	100.0	173	100.0	347	100.0

問2(3) 多面的機能は、里地里山が適正に保全されてはじめて発揮されます。あなたは、里地里山におけるどのような活動やイベントに参加したいと思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(回答はいくつでも)

	男性(174人)		女性(173人)		合計(347人)	
	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)
1 荒れた農地の復元	67	38.5	33	19.1	100	28.8
2 田植え	41	23.6	83	48.0	124	35.7
3 稲刈り	43	24.7	73	42.2	116	33.4
4 野菜の植え付け	65	37.4	86	49.7	151	43.5
5 野菜の収穫	66	37.9	110	63.6	176	50.7
6 雑木林の落ち葉掻き	57	32.8	34	19.7	91	26.2
7 植樹	79	45.4	62	35.8	141	40.6
8 間伐、枝打ち	59	33.9	16	9.2	75	21.6
9 竹の切り出し	27	15.5	15	8.7	42	12.1
10 採草・草刈り	48	27.6	36	20.8	84	24.2
11 炭焼	33	19.0	40	23.1	73	21.0
12 薪割り	20	11.5	26	15.0	46	13.3
13 ほだ木(キノコの菌を植え付けた原木)づくり	43	24.7	56	32.4	99	28.5
14 しめ縄、竹細工など伝統工芸体験	20	11.5	66	38.2	86	24.8
15 伝統食調理体験	30	17.2	93	53.8	123	35.4
16 生き物観察・調査会	78	44.8	82	47.4	160	46.1
17 散策会	79	45.4	94	54.3	173	49.9
18 その他	13	7.5	6	3.5	19	5.5
19 特にない	7	4.0	5	2.9	12	3.5
20 わからない	4	2.3	2	1.2	6	1.7
合計	879	-	1,018	-	1,897	-

問2(4) あなたは、里地里山における活動に、どのような条件ならば参加したいと思いますか。次のア～オについてあてはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください。(回答はそれぞれ1つ)

ア どのような参加形態がよいと思いますか。(回答は1つ)

	男性		女性		合計	
	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)
1 個人で散策などを楽しむ程度	41	23.6	31	17.9	72	20.7
2 イベントに参加	68	39.1	110	63.6	178	51.3
3 団体に所属せず個人で活動	17	9.8	9	5.2	26	7.5
4 里地里山で活動している団体に所属し活動	31	17.8	10	5.8	41	11.8
5 農林業に就労するなど直接保全に関わる	2	1.1	3	1.7	5	1.4
6 その他	8	4.6	1	0.6	9	2.6
7 参加したいと思わない	2	1.1	4	2.3	6	1.7
8 わからない	5	2.9	5	2.9	10	2.9
合計	174	100.0	173	100.0	347	100.0

イ 主催者は誰がよいと思いますか。(回答は1つ)

	男性		女性		合計	
	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)
1 行政が主催する	34	19.5	34	19.7	68	19.6
2 里地里山で活動している団体が主催する	14	8.0	12	6.9	26	7.5
3 里地里山で活動している団体が主催し、行政が共催または後援する	81	46.6	88	50.9	169	48.7
4 主催者は問わない	37	21.3	35	20.2	72	20.7
5 その他	3	1.7	-	0.0	3	0.9
6 参加したいと思わない	3	1.7	2	1.2	5	1.4
7 わからない	2	1.1	2	1.2	4	1.2
合計	174	100.0	173	100.0	347	100.0

ウ 活動の頻度はどの程度がよいと思いますか。(回答は1つ)

	男性		女性		合計	
	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)
1 週に1回	7	4.0	4	2.3	11	3.2
2 月に1回	66	37.9	59	34.1	125	36.0
3 2～3か月に1回	59	33.9	67	38.7	126	36.3
4 半年に1回	27	15.5	18	10.4	45	13.0
5 年に1回	5	2.9	13	7.5	18	5.2
6 その他	5	2.9	7	4.0	12	3.5
7 参加したいと思わない	5	2.9	5	2.9	10	2.9
合計	174	100.0	173	100.0	347	100.0

エ 自宅から活動場所までの片道の所要時間はどの程度がよいと思いますか。(回答は1つ)

	男性		女性		合計	
	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)
1 15分以内	3	1.7	6	3.5	9	2.6
2 30分以内	28	16.1	58	33.5	86	24.8
3 1時間以内	97	55.7	83	48.0	180	51.9
4 2時間以内	32	18.4	16	9.2	48	13.8
5 2時間を超えても構わない	8	4.6	5	2.9	13	3.7
6 参加したいと思わない	6	3.4	4	2.3	10	2.9
- 無回答	-	0.0	1	0.6	1	0.3
合計	174	100.0	173	100.0	347	100.0

オ 1回の活動時間はどの程度がよいと思いますか。(回答は1つ)

	男性		女性		合計	
	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)
1 1時間以内	5	2.9	17	9.8	22	6.3
2 2時間以内	58	33.3	82	47.4	140	40.3
3 4時間以内	75	43.1	47	27.2	122	35.2
4 4時間を超えても構わない	29	16.7	19	11.0	48	13.8
5 その他	1	0.6	4	2.3	5	1.4
6 参加したいと思わない	6	3.4	4	2.3	10	2.9
合計	174	100.0	173	100.0	347	100.0

問3 県の支援に対する意識

問3(1) 県では、里地里山の有する多面的機能の発揮と次世代への継承を図ることにより、県民の健康で心豊かな生活の確保に寄与することを目的に、平成20年4月1日に「神奈川県里地里山の保全、再生及び活用の促進に関する条例」(以下、「条例」という。)を施行しました。このことを知っていましたか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(回答は1つ)

	男性		女性		合計	
	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)
1 知っていた	22	12.6	9	5.2	31	8.9
2 知らなかった	150	86.2	164	94.8	314	90.5
- 無回答	2	1.1	-	0.0	2	0.6
合計	174	100.0	173	100.0	347	100.0

問3(2) 条例第4条では、県の責務を定めていますが、あなたは多面的機能を生かせるための里地里山の保全等に、県はどのように関わるとよいと思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(回答は1つ)

	男性		女性		合計	
	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)
1 県全体で恩恵を受けているので、主体となって保全等を行う	88	50.6	80	46.2	168	48.4
2 県全体で恩恵を受けているので、費用を支援する	70	40.2	62	35.8	132	38.0
3 里地里山は私有地なので、関わらなくてよい	5	2.9	4	2.3	9	2.6
4 その他	4	2.3	1	0.6	5	1.4
5 わからない	7	4.0	26	15.0	33	9.5
合計	174	100.0	173	100.0	347	100.0

《ここからは、問3(2)で「2 県全体で恩恵を受けているので、費用を支援する」と答えた方のみお答えください》

問3(3) その場合、誰に支援すべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(回答は1つ)

	男性		女性		合計	
	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)
1 自ら保全をしている土地所有者	4	5.7	2	3.2	6	4.5
2 保全活動をしている人や団体	27	38.6	25	40.3	52	39.4
3 自ら保全をしている土地所有者と保全活動をする人や団体の両方	38	54.3	33	53.2	71	53.8
4 その他	1	1.4	1	1.6	2	1.5
- 無回答	-	0.0	1	1.6	1	0.8
合計	70	100.0	62	100.0	132	100.0

問3(4) その場合、どのような考えに基づき、費用について支援するのがよいと思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(回答は1つ)

	男性		女性		合計	
	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)
1 実際の保全活動に要した経費の全額	13	18.6	8	12.9	21	15.9
2 実際の保全活動に要した経費の一部	41	58.6	34	54.8	75	56.8
3 発揮された多面的機能を経済(貨幣)価値に換算した額	5	7.1	13	21.0	18	13.6
4 保全活動をすることによって減少する所得相当分を補填	6	8.6	3	4.8	9	6.8
5 その他	3	4.3	-	0.0	3	2.3
6 わからない	1	1.4	2	3.2	3	2.3
- 無回答	1	1.4	2	3.2	3	2.3
合計	70	100.0	62	100.0	132	100.0

《すべての方がお答えください》

問3(5) 条例第13条における県の支援は、土地所有者と活動団体が協定を結び、その協定を県が認定した活動団体（以下、「認定団体」という）に対して行うことになっています。あなたがこの仕組みに参加するとしたら、どのように参加したいと思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。（回答は1つ）

	男性		女性		合計	
	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)
1 自ら活動団体を組織して協定を締結し活動したい	4	2.3	1	0.6	5	1.4
2 認定団体に所属して活動したい	35	20.1	14	8.1	49	14.1
3 所属せずに認定団体が行うイベントなどに参加したい	109	62.6	138	79.8	247	71.2
4 この仕組みには参加したくない	9	5.2	6	3.5	15	4.3
5 わからない	13	7.5	13	7.5	26	7.5
- 無回答	4	2.3	1	0.6	5	1.4
合計	174	100.0	173	100.0	347	100.0

《問3(5)で、「1 自ら活動団体を組織して協定を締結し活動したい」と答えた方のみお答えください》

問3(6) 土地所有者と協定を結ぶに当たって県に期待する役割は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。（回答はいくつでも）

	男性 (4人)		女性 (1人)		合計 (5人)	
	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)
1 活動団体が希望する土地と土地所有者の紹介、仲介	4	100.0	1	100.0	5	100.0
2 活動団体を組織するための助言	2	50.0	1	100.0	3	60.0
3 協定締結のための事務手続きの手助け	2	50.0	1	100.0	3	60.0
4 その他	-	0.0	-	0.0	-	0.0
5 特にない	-	0.0	-	0.0	-	0.0
6 わからない	-	0.0	-	0.0	-	0.0
合計	8	-	3	-	11	-

《すべての方がお答えください》

問3(7) 今後、保全活動に参加する人が増えるようにするには、県は特にどのような取組をする必要があると思いますか。次の中から2つまで選んでください。（回答は2つまで）

	男性 (174人)		女性 (173人)		合計 (347人)	
	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)
1 制度や事業の説明会の開催	73	42.0	47	27.2	120	34.6
2 ポスター掲示やチラシの配布などの広報活動	94	54.0	119	68.8	213	61.4
3 既に保全活動している団体による事例発表などのシンポジウムの開催	64	36.8	58	33.5	122	35.2
4 既に保全活動している団体への視察研修	38	21.8	41	23.7	79	22.8
5 保全活動をする団体立ち上げのためのノウハウの研修	24	13.8	31	17.9	55	15.9
6 その他	10	5.7	7	4.0	17	4.9
7 特にない	2	1.1	2	1.2	4	1.2
8 わからない	5	2.9	4	2.3	9	2.6
合計	310	-	309	-	619	-

平成20年度
県政モニター県政課題アンケート（第2回）

「里地里山の保全等について」

発行：平成20年9月
作成：神奈川県 県民部 広報県民課
横浜市中区日本大通1（〒231-8588）
電話（045）210-1111（代） 内線3669～3671